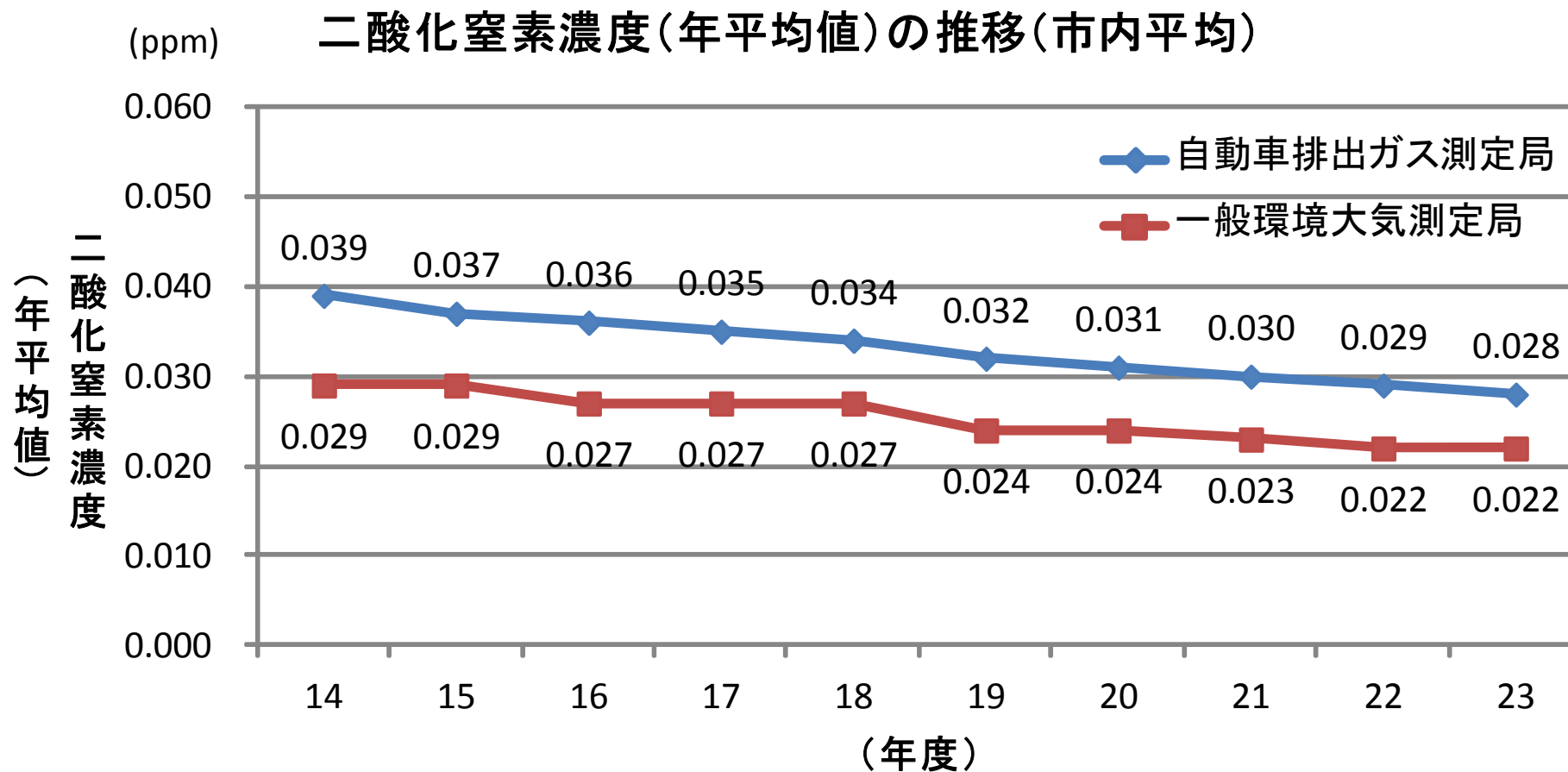


原告から の提案

第16回西淀川地区道路沿道環境に
関する連絡会

2012. 11. 20

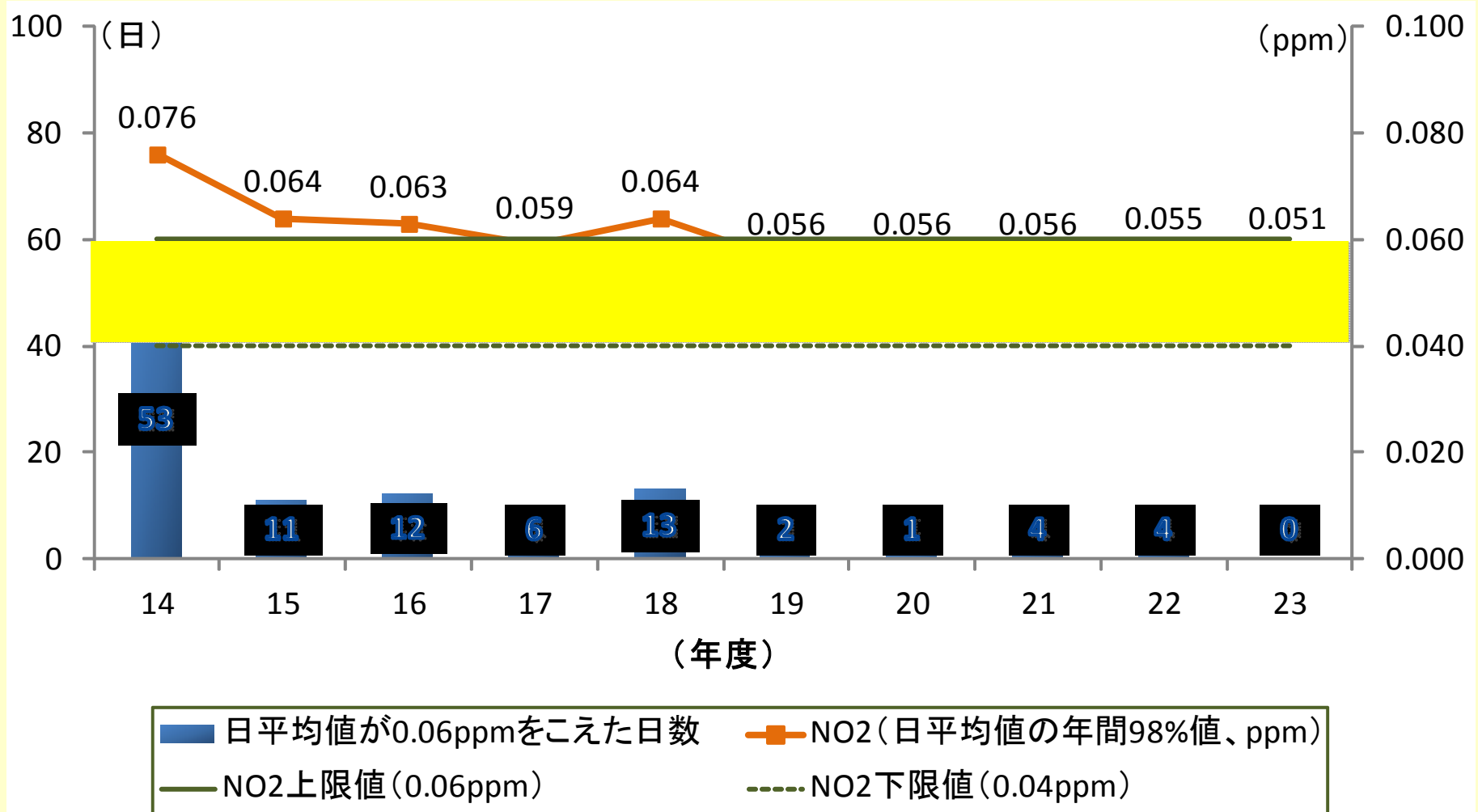
大阪市全体の状況①二酸化窒素



《年平均値の推移をみると》

- 経年的には、ゆるやかな減少傾向にある

西淀川区の状況：二酸化窒素



- ・ NO2年間98%値は横ばい→減少傾向。

NO₂の環境基準について

◎当初環境基準(1973.5.8告示)

1時間値の日平均98%値0.02ppm以下

◎現行環境基準(1978.7.11告示)

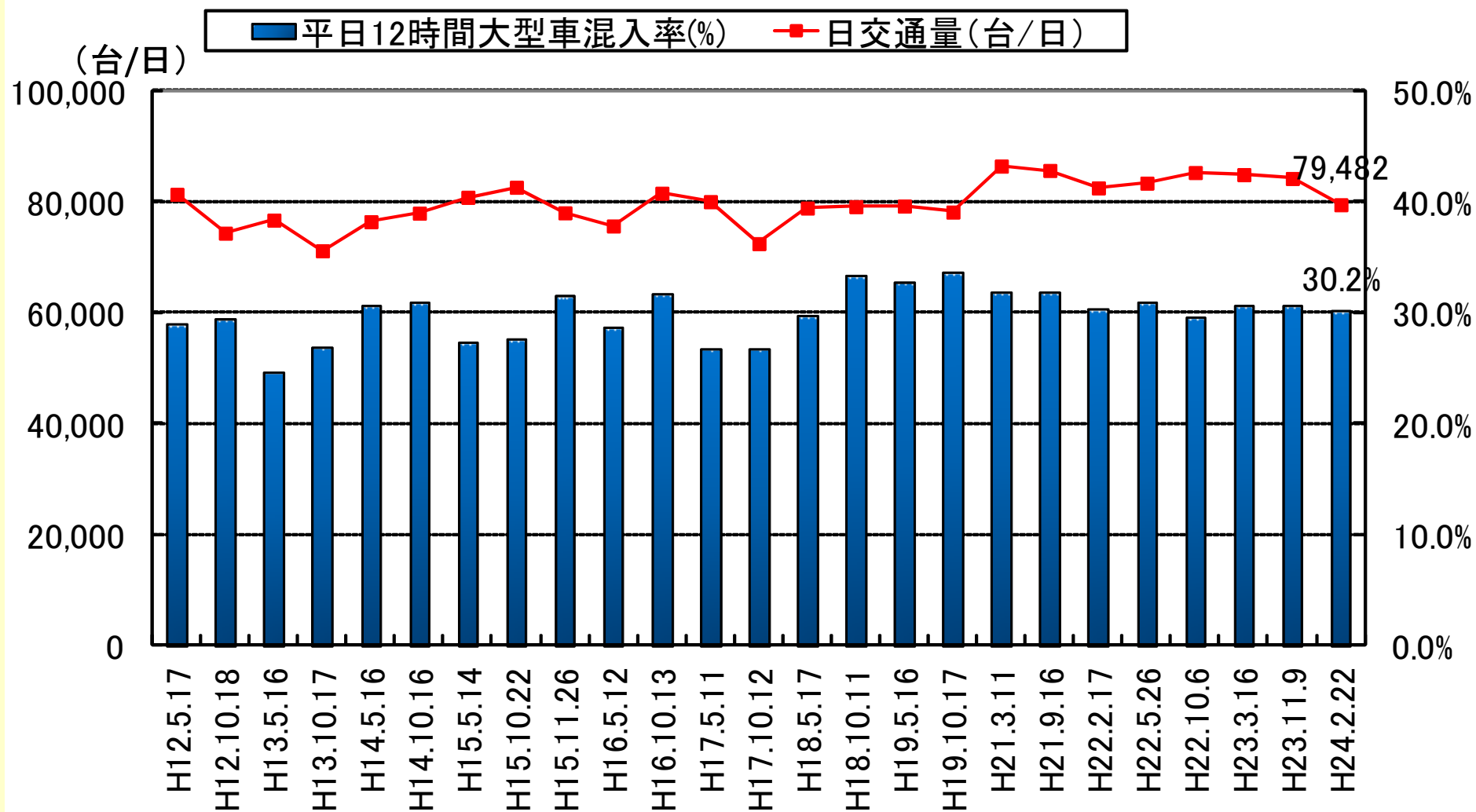
1時間値の日平均98%値0.04~0.06ppm

のゾーン内またはそれ以下

- ・0.06ppmを超える地域は7年以内に0.06ppm達成に努める
- ・ゾーン内、または0.04ppm以下の地域は原則として現状程度の水準維持または大きく上回らない

近年、国道43号では、交通量も大型車の割合も大きく変わっていません。

◆環境改善の課題：大型車の交通量を減らすこと



現況の環境ロードプライシングの概要

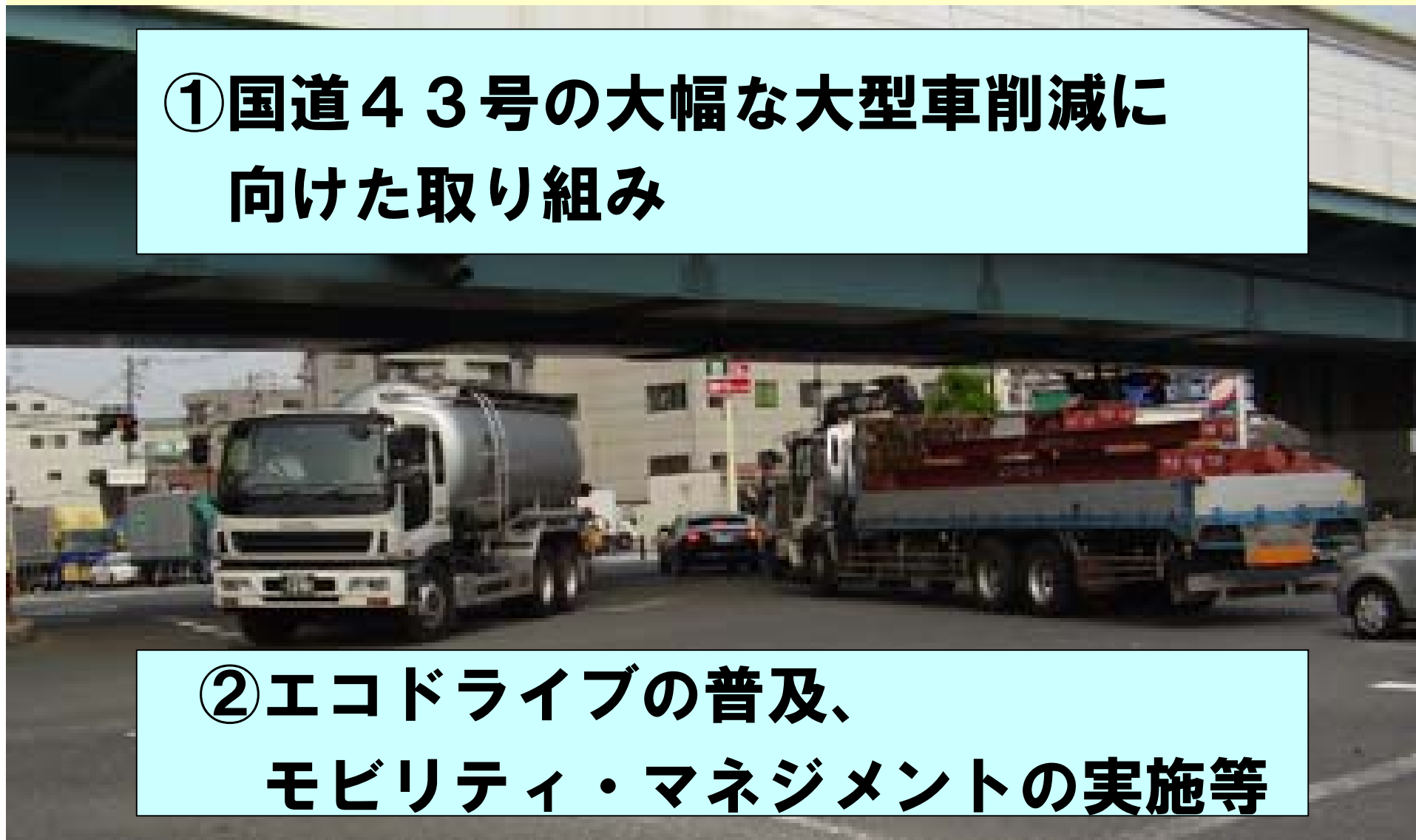


※近畿整備局資料より

【提案①】 大型車・交通量削減を！

①国道43号の大幅な大型車削減に向けた取り組み

②エコドライブの普及、
モビリティ・マネジメントの実施等



国道43号の大幅な大型車削減に向けた取り組み

①削減目標の設定

②環境ロードプライシングの拡充

(湾岸線の割引、3号神戸線の値上げなど)

③国道43号の車線削減、43号線の大型車の走行レーン指定(走行レーンの削減)

④大型車削減に向けた総合調査(事業所・ドライバー対象の意向調査、より詳細な交通実態調査など)

⑤西淀川地域の内陸部通過交通の抑制(国道2号・府道大阪池田線の大型車流入規制、国道43号の大型車夜間通行禁止、国道43号での環境規制強化など)

【提案②】歩行者・自転車にやさしい沿道対策・交通環境対策を！

①幹線道路沿道対策の強化

（大気浄化、沿道緑化、騒音・振動対策、環境レーンを）

②歩行者・自転車にやさしい移動環境を



西淀川
高校周辺



PM2.5について

- 大気中に漂う浮遊粒子のうち粒径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さなものをいう。粒径が小さいため、肺の奥まで入りやすく健康影響の可能性が懸念されている。

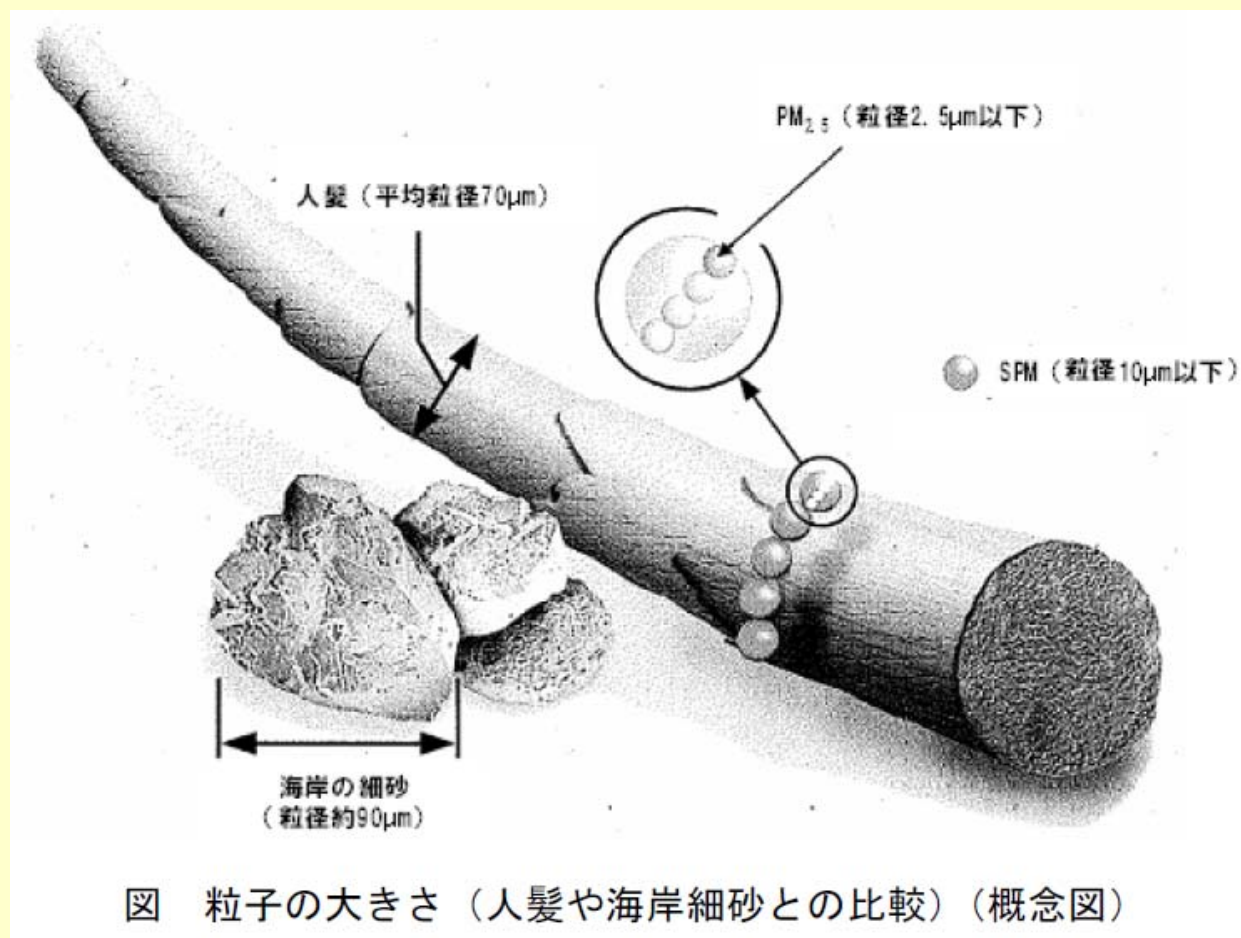
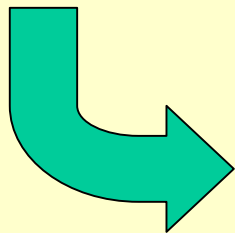


図 粒子の大きさ (人髪や海岸細砂との比較) (概念図)

微小粒子状物質 (PM2.5) の健康影響

- 呼吸器系・循環器系の死亡リスクの増加、症状・機能の変化及び入院・受診数の増加に関する疫学知見から、粒子状物質において従前から認められている呼吸器系の健康影響が微小粒子状物質においてもみられ、また、新たに微小粒子状物質による循環器系や肺がんの健康影響がみられた。

(微小粒子状物質健康影響評価検討会 (H20. 4.3))



平成21年9月に、新たにPM2.5の環境基準が設定された（年平均値 $15 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下、かつ日平均値 $35 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下）。

【提案③】PM2.5環境基準の 早期達成に向けた対策を！

表：平成23年度の測定結果について

	年平均値 (μg/m ³)							24時間値 (μg/m ³ 、2%除外値)							測定方法
	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	
① 大和田西交差点 (国道43号)	28.7	26.7	25.1	23.1	21.4	21.8	21.1	56.0	57.2	58.8	46.4	44.3	53.6	45.8	β線吸収法
② 歌島橋交差点 (国道2号)	—	—	29.6	26.0	24.9	27.1	21.5	—	—	67.9	48.1	47.9	62.1	44.3	β線吸収法
③ 新佃公園前 (国道2号)	26.1	25.6	23.5	20.7	20.9	21.2	21.2	56.7	58.0	65.5	43.1	43.9	49.8	41.7	β線吸収法
④ 出来島小学校 (国道43号)	23.8	22.5	20.4	19.1	17.6	16.3	18.4	48.9	50.2	49.8	38.5	39.7	40.4	41.3	TEOM法
基準	日本 (環境基準)							15							
	米国 (環境基準)							35							標準測定方法
	WHO (ガイドライン)							10							25

- 環境基準値を大幅に超える測定結果
→測定体制の変更、環境基準の早期達成に向けた対策を！

歌島橋交差点のみどり



↑ 以前 ↓



↑ 現在 ↓



工事前の歌島橋交差点



【提案④】

歌島橋交差点についての提案

- ① 同工事に関する評価・早急な対策を行なうべき
- ② 歩車分離型信号を！
- ③ 「人が集う」交差点として整備を！



◆歩車分離型の横断歩道の メリット

- ① **歩行者と車両の交錯がなく、**
衝突事故を防止することができる。
- ② **上下移動が不必要で**
横断者への負担がない。
- ③ **従来の信号機をそのまま使用できる**
ため、運転手にとっても歩行者にとっても違和感が小さい。

例：歩車分離式信号（みて じま筋）

